

第3次日立市商工振興計画における具体的施策

本市が目指す姿を実現するため、次の施策を推進および強化していきます

- DXの取組促進
- 脱炭素経営の促進
- 新事業展開、新市場参入に向けた事業再構築支援
- イノベーションの促進
- 副業兼業人材の活用支援
- 国際認証、特許技術等の取得支援
- 事業継続力強化支援
- 中核企業育成及び創出のための伴走型支援

- ものづくりの基礎となる技術の習得支援
- 若手経営者等人材育成支援
- 円滑な事業継承支援
- ひたちの味の伝承支援
- 働きやすい環境づくり支援
- 働き方改革への対応支援
- 地域雇用創出支援・人材確保支援
- 雇用センター多賀の運営
- 外国中核人材活用支援
- 金融機関等との連携による創業支援

変化に
対応する力



引き継ぐ力

中小企業の力
の強化戦略プラン
具体的施策

集積の力



発信する力

- 日立駅前再活性化
- 地元買物推進
- 商店街にぎわい創出
- 商店街街路灯の保全
- まちなか空き店舗活用支援
- 街なかMCO、MCOインキュベーションの運営
- 産業団地整備
- 産業立地促進
- 本社機能移転等促進
- 産学官連携研究開発支援
- 新たな連携活動推進

- 首都圏受注の促進
- 展示会への出展支援
- 非対面営業による販路開拓支援
- 海外販路の開拓支援
- HP、SNS等による発信の支援
- 域外企業とのマッチング等の促進
- 企業と地域の交流促進
- 企業のブランディング支援



Hitachi city Commerce and Industry Promotion Plan

多様な活力が
あふれる

産業のまち



変化に**対応**する力

引き**継**ぐ力

集積の力

発信する力

多様な**活力**があふれる 産業のまち

ものづくりのまちとして培ってきた
知恵や技術をいかし、
活力ある産業のまちづくりを進めます

第3次 日立市商工振興計画

計画の期間	令和 6 年度 (2024年4月～2029年3月)	計5年間	計画の趣旨
	令和 10 年度		

本市の商工業を取り巻く環境が、大きな変革期を迎えている状況を踏まえながら、活力ある産業のまちづくりを進める中で取り組むべき施策を掲げた計画として策定します。



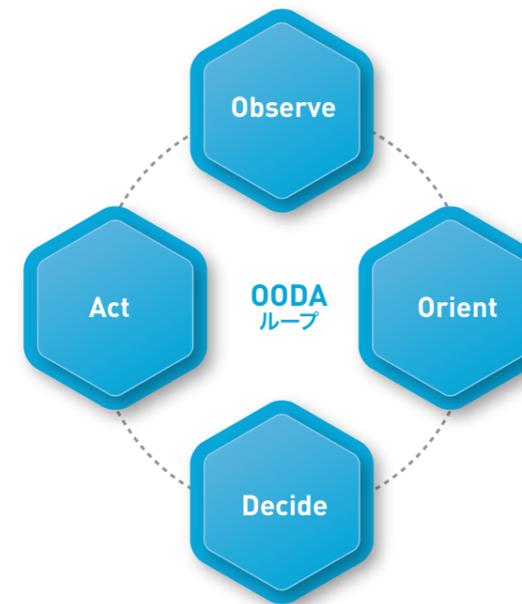
	現状と課題	基本戦略	プロジェクト概要	施策事例
1	<ul style="list-style-type: none"> DXによる生産性向上・収益力強化 脱炭素への対応 物価高騰に対応した部素材の調達、価格転嫁 感染症の流行や災害等に対応する事業継続力 	<p>変化に対応する力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 変化が激しく、将来の予想が困難な事業環境に対応し、生き抜いていくための「力」を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素経営支援 DX促進 新事業、新市場への事業再構築 事業継続力の強化 個社の強みの強化
2	<ul style="list-style-type: none"> 現場の技術者の採用難 従業員の高齢化等による技能伝承 後継者の確保と育成、担い手の確保 	<p>引き継ぐ力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営資源・技能やノウハウなどを次の世代に引き継ぎ、事業を繋いでいく「力」を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の獲得、多様な人材の活用 人材の育成、技能習得 後継者の育成、事業承継
3	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の増加による商店街機能の低下 駅前地区の活性化 大手企業の事業再編による売上利益の減少 	<p>集積の力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の事業者間の連携などの集積効果を活かした「力」を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前活性化 共同受注、共同販売 空き店舗の活用、商店街活性化 産学連携、異業種間連携
4	<ul style="list-style-type: none"> ECサイトやHPへの効果的な誘客手法の確立 マーケティング・ブランディングの強化 	<p>発信する力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規販路開拓・顧客定着のため、市場での自社の価値を発掘・発信する「力」を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 展示会等への出展、営業力の強化 マーケティング活動支援 個社、地域のブランディング

中小企業の『力』の強化によるしなやかな産業構造の形成

商工業の支援施策を機動的かつ持続的に推進し、原動力と推進力を兼ね備えた運用を図るため、「未来を牽引する中小企業応援会議」及び「中小企業振興会議」と連携した体制を構築します。



OODAループ | 目まぐるしく変化する状況下で、成果を出すための意思決定手法



状況等に変化が無い時の改善活動に適している「PDCAサイクル(計画-実行-評価-改善)」と異なり、状況等の「観察」を起点にしつつ適宜、前のステップへループさせることもあり、臨機応変且つ迅速な意思決定に適した手法であるため、本手法を用いて本計画の策定及び検証を実施します。

- Observe (観察)** 未来を牽引する中小企業応援会議等による中小企業からの現状把握、意見の収集
- Orient (方向づけ)** 中小企業振興会議等における学識経験者、産業支援機関等による施策・事業の評価検証
- Decide (意思決定)** 基本計画、商工振興計画、予算等による実施施策の決定
- Act (行動)** 施策の執行